

東京海上・ がんとたたかう投信 (為替ヘッジなし) (年1回決算型)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式 (課税上は株式投資信託として取扱われます。)	
信託期間	2019年7月26日から2030年2月4日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行います。	
主要投資対象	東京海上・ がんとたたかう投信 (為替ヘッジなし) (年1回決算型)	外国投資証券「カンドリアム・エクイティーズ・L・オンコロジー・インパクト(円建て、為替ヘッジなし)」および親投資信託「東京海上マネーマザーファンド」を主要投資対象とします。
	カンドリアム・ エクイティーズ・ L・オンコロジー・ インパクト (円建て、為替ヘッジなし)	ヘルスケア分野を中心として、世界のがん治療・診断・研究等に関連する企業の株式(これに準じるものを含みます。)に投資します。
	東京海上 マネーマザーファンド	円建て短期公社債およびコマーシャル・ペーパーなどを主要投資対象とします。
投資制限	東京海上・ がんとたたかう投信 (為替ヘッジなし) (年1回決算型)	<ul style="list-style-type: none"> 株式への直接投資は行いません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 投資信託証券への投資割合には制限を設けません。
	カンドリアム・ エクイティーズ・ L・オンコロジー・ インパクト (円建て、為替ヘッジなし)	<ul style="list-style-type: none"> 原則として、純資産総額の10%を超える借入れは行わないものとします。 原則として、有価証券の空売りは行いません。 同一発行体への投資割合は、原則として純資産総額の10%以下とします。
	東京海上 マネーマザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> 株式への投資は行いません。 外貨建資産への投資は、円貨で約定し円貨で決済するもの(為替リスクの生じないもの)に限ります。
分配方針	<p>毎決算時に、原則として経費控除後の、繰越分を含めた配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等から、基準価額の水準、市況動向等を勘案して分配を行う方針です。ただし、分配対象額が少額の場合等には、収益分配を行わないことがあります。</p> <p>収益の分配に充当せず、信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。</p>	

第1期 運用報告書(全体版)
(決算日 2020年2月4日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「東京海上・がんとたたかう投信(為替ヘッジなし)(年1回決算型)」は、このたび、第1期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

東京海上アセットマネジメント

東京都千代田区丸の内1-8-2 鉄鋼ビルディング

お問い合わせ窓口

東京海上アセットマネジメント サービスデスク 0120-712-016

受付時間：営業日の9時～17時

<https://www.tokiomarineam.co.jp/>

原則、各表の数量、金額の単位未満は切り捨て、比率は四捨五入で表記していますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値と一致しない場合があります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
また、一印は組み入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	準 価 額		騰 落 率	債 組 入 比	券 率	投 証 組 入 比	資 信 託 券 率	純 資 産 額
		税 分 配	み 金						
(設定日)	円		円	%		%		%	百万円
2019年7月26日	10,000		—	—		—		—	10
1期(2020年2月4日)	11,302		100	14.0		0.0		98.9	1,288

(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	準 価 額		騰 落 率	債 組 入 比	券 率	投 証 組 入 比	資 信 託 券 率
		税 分 配	み 金					
(設定日)	円			%		%		%
2019年7月26日	10,000			—		—		—
7月末	10,047			0.5		0.1		96.8
8月末	9,826			△ 1.7		0.0		99.1
9月末	9,663			△ 3.4		0.0		99.2
10月末	10,170			1.7		0.0		99.6
11月末	11,029			10.3		0.0		99.3
12月末	11,595			16.0		0.0		95.1
2020年1月末	11,431			14.3		0.0		98.7
(期 末)								
2020年2月4日	11,402			14.0		0.0		98.9

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は設定日比です。

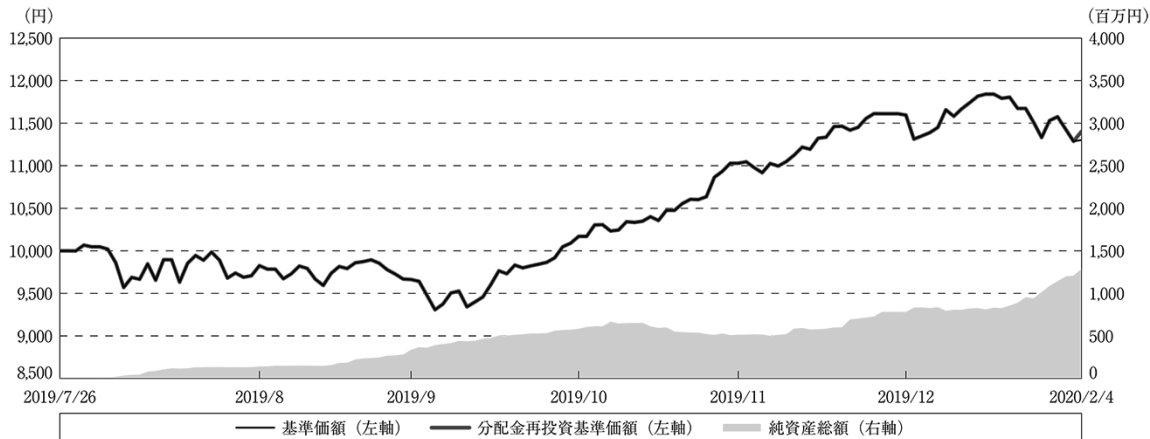
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

当ファンドにベンチマークはなく、また当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる指数もないため、ベンチマーク、参考指数を記載していません。

○運用経過

(2019年7月26日～2020年2月4日)

■期中の基準価額等の推移



設定日：10,000円

期 末：11,302円(既払分配金(税込み):100円)

騰落率：14.0%(分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様ご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

◇基準価額の主な変動要因

プラス要因

- ・世界的な金融緩和政策や米中通商協議の進展などに伴う株式市場の上昇
- ・開発した新薬の承認取得やM&A(企業の合併・買収)などが好感されて上昇した株式の保有

マイナス要因

- ・米中貿易摩擦の激化を背景とした景気減速懸念に伴う株式市場の下落

■投資環境

【世界株式市場】

当期の世界株式市場は上昇しました。期初、米中貿易摩擦の深刻化などから株式市場は世界的に下落しましたが、中国政府による景気刺激策の発表や英国の合意なきEU（欧州連合）離脱を阻止する法案の可決などから反発しました。期末にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されたものの、FRB（米連邦準備制度理事会）の追加利下げや米中通商協議の進展への期待などを背景に上昇基調を維持しました。

【為替市況】

当期の米ドル円為替レートはおおむね横ばいで推移しました。期前半は、FRBの利下げ観測や対中追加関税の表明などによる景気後退懸念から円高米ドル安となりました。その後、米中通商協議の進展が円安米ドル高要因となった一方、新型コロナウイルスの感染拡大への懸念が円高米ドル安要因となりました。

当期のユーロ円為替レートはおおむね横ばいで推移しました。期初、米中貿易摩擦の激化から円高ユーロ安が進行しましたが、その後、米中通商協議の進展などから、円安ユーロ高が進行しました。期末にかけては、英国総選挙における与党・保守党の圧勝などから円安ユーロ高となりましたが、中国での新型コロナウイルスの感染拡大から再び円高ユーロ安で推移しました。

■ポートフォリオについて

<東京海上・がんとたたかう投信（為替ヘッジなし）（年1回決算型）>

「カンドリアム・エクイティーズ・L・オンコロジー・インパクト（円建て、為替ヘッジなし）」（以下、外国投資信託証券）および「東京海上マネーマザーファンド」（以下、親投資信託）を主要投資対象とし、外国投資信託証券の組入比率を高位に保ちました。

当ファンドの基準価額（税引前分配金再投資）は、主に外国投資信託証券の値動きを反映し、14.0%上昇しました。

<外国投資信託証券>

当ファンドは、がん患者の生活を改善できる薬や医療機器、診断薬を研究・開発・製造するがん関連企業への投資を行いました。

当期は、米中貿易摩擦の再燃などに左右される局面もありましたが、投資対象が成長市場であるがん関連企業株式に特化しているに加えて、開発した新薬の着実な承認取得やM&Aなどが好感されて保有銘柄の株価が上昇し、銘柄選択が奏功した結果、基準価額は上昇しました。

【組入銘柄の概要（2020年1月末現在）】

領域別構成

領域	比率
	%
診断・検査	6.8
プロファイリング	6.5
医療技術	10.2
医薬品	66.8
その他	9.7

（注）比率は保有株式の時価総額に占める割合です。

（注）カンドリアム・ベルギー・エス・エー（以下、カンドリアム）が主要と判断する領域に基づいて分類しています。

組入上位10銘柄

	銘柄	業種	領域	比率 %
1	ROCHE HOLDING AG-GENUSSSCHEIN	医薬品	医薬品	8.1
2	BRISTOL-MYERS SQUIBB CO	医薬品	医薬品	6.7
3	MERCK & CO. INC.	医薬品	医薬品	4.8
4	THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	ライフサイエンス・ツール/サービス	診断・検査、プロファイリング、その他	4.4
5	ASTRAZENECA PLC	医薬品	医薬品	3.8
6	GENMAB A/S	バイオテクノロジー	医薬品	3.7
7	DAIICHI SANKYO CO LTD	医薬品	医薬品	3.4
8	HOLOGIC INC	ヘルスケア機器・用品	医療技術	3.2
9	LONZA GROUP AG-REG	ライフサイエンス・ツール/サービス	その他	3.2
10	SIEMENS HEALTHINEERS AG	ヘルスケア機器・用品	医療技術	2.9
組入銘柄数			61銘柄	

(注) 比率は純資産総額に占める割合です。

(注) 業種は、GICS（世界産業分類基準）産業分類です。

(注) 領域は、カンドリウムによる独自の分類です。

<親投資信託>

元本の安全性と流動性を重視して地方債などを中心とする円建て公社債に投資し、プラスの収益の確保に努めました。その結果、基準価額はおおむね横ばいに推移しました。

■当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けていません。

また、当ファンドの運用方針に対して適切に比較できる参考指数もないため、記載する事項はありません。

■分配金

当ファンドの収益分配方針に基づき、基準価額の水準や市況動向などを勘案して、次表の通りとしました。なお、収益分配に充てなかった収益については信託財産内に留保し、当ファンドの運用方針に基づいて運用を行います。

◇分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第1期
	2019年7月26日～ 2020年2月4日
当期分配金	100
(対基準価額比率)	0.877%
当期の収益	—
当期の収益以外	100
翌期繰越分配対象額	1,302

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

<東京海上・がんとたたかう投信（為替ヘッジなし）（年1回決算型）>

外国投資信託証券および親投資信託を主要投資対象とし、外国投資信託証券の組入比率を高位に保ちます。

<外国投資信託証券>

2020年の株式市場は、引き続き底堅い動きになるとみており、景気後退に陥る可能性は低いと考えています。米中貿易摩擦の再燃や地政学的リスクが高まる局面では、投資家のリスク回避的な姿勢が強まることで株式市場に影響を及ぼす懸念はありますが、ヘルスケアセクターはディフェンシブ（景気変動の影響を受けにくい）性が高いセクターであることから、影響は比較的限定的なものにとどまると考えます。

引き続き、革新的な技術やアイデアを持ち、「がん治療」の進歩に多大な貢献（インパクト）を及ぼす可能性の高い企業の中から、がんの治療・診断・研究などに関連する企業を投資対象とします。銘柄選定に際しては、個別企業の財務状況やビジネスの成長性、競争の優位性などを分析し、株価水準、銘柄分散、リスクなどを勘案してポートフォリオを構築する方針です。

<親投資信託>

国内の短期金利は、日銀が当面は緩和的な政策を継続するとの見方から、マイナス水準にとどまると予想しています。

このような環境下、政府保証債や地方債を中心とする円建て公社債およびコマーシャル・ペーパーを主要投資対象として運用することにより、プラスの収益の確保もしくはマイナス幅を極力最小化するように努める方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2019年7月26日～2020年2月4日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 66	% 0.624	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(22)	(0.204)	*委託した資金の運用、基準価額の計算、目論見書作成等の対価
(販 売 会 社)	(43)	(0.408)	*購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.012)	*運用財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.006	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(1)	(0.006)	*監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	67	0.630	
期中の平均基準価額は、10,537円です。			

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入しています。

(注) その他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

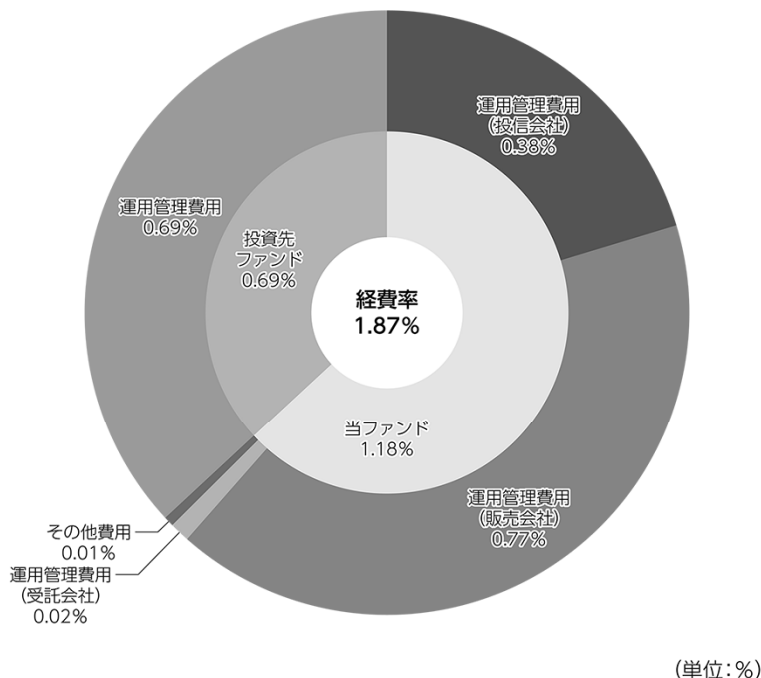
(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券(親投資信託を除く。)が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.87%です。



経費率 (①+②)	1.87
①当ファンドの費用の比率	1.18
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.69

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

(注) 投資先ファンドの費用は、「カンドリアム・エクイティーズ・L・オンコロジー・インパクト」の費用を基に算出しています。

○売買及び取引の状況

(2019年7月26日～2020年2月4日)

投資信託証券

銘		柄	買付		売付	
			口数	金額	口数	金額
外国 (邦貨建)	ルクセンブルグ	カンドリアム・エクイティーズ・L・オンコロジー・インパクト(円建て、為替ヘッジなし)	口	千円	口	千円
			93,625	1,511,200	19,750	321,000

(注) 金額は受渡代金です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘		柄	設定		解約	
			口数	金額	口数	金額
		東京海上マネーマザーファンド	千口	千円	千口	千円
			9	10	—	—

○利害関係人との取引状況等

(2019年7月26日～2020年2月4日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○自社による当ファンドの設定・解約の状況

(2019年7月26日～2020年2月4日)

設定時残高(元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高(元本)	取引の理由
百万円 10	百万円 —	百万円 10	百万円 —	当初設定における取得および処分

○組入資産の明細

(2020年2月4日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘		柄	当 期 末		
			口数	評価額	比率
		カンドリアム・エクイティーズ・L・オンコロジー・インパクト(円建て、為替ヘッジなし)	口	千円	%
			73,875	1,275,235	98.9
		合 計	73,875	1,275,235	98.9

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

親投資信託残高

銘	柄	当 期 末	
		口 数	評 価 額
東京海上マネーマザーファンド		千口 9	千円 10

○投資信託財産の構成

(2020年2月4日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資証券	千円 1,275,235	% 90.2
東京海上マネーマザーファンド	10	0.0
コール・ローン等、その他	139,035	9.8
投資信託財産総額	1,414,280	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2020年2月4日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,414,280,645
コール・ローン等	139,035,432
投資証券(評価額)	1,275,235,169
東京海上マネーマザーファンド(評価額)	10,001
未収利息	43
(B) 負債	125,314,236
未払金	75,000,000
未払収益分配金	11,404,823
未払解約金	38,558,856
未払信託報酬	347,314
その他未払費用	3,243
(C) 純資産総額(A-B)	1,288,966,409
元本	1,140,482,338
次期繰越損益金	148,484,071
(D) 受益権総口数	1,140,482,338口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,302円

(注) 当ファンドの設定時元本額は10,000,000円、期中追加設定元本額は1,690,494,268円、期中一部解約元本額は560,011,930円です。

(注) 上記表中の次期繰越損益金が△表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

(注) 上記表中の1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第11号に規定する計算口数当たりの純資産の額となります。

○損益の状況（2019年7月26日～2020年2月4日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 6,269
受取利息	56
支払利息	△ 6,325
(B) 有価証券売買損益	39,245,486
売買益	76,712,092
売買損	△ 37,466,606
(C) 信託報酬等	△ 2,975,118
(D) 当期損益金(A+B+C)	36,264,099
(E) 追加信託差損益金	123,624,795
(配当等相当額)	(△ 31,707)
(売買損益相当額)	(123,656,502)
(F) 計(D+E)	159,888,894
(G) 収益分配金	△ 11,404,823
次期繰越損益金(F+G)	148,484,071
追加信託差損益金	112,219,972
(配当等相当額)	(△ 31,707)
(売買損益相当額)	(112,251,679)
分配準備積立金	36,270,368
繰越損益金	△ 6,269

(注) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C)信託報酬等は、消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (E)追加信託差損益金は、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分です。

(注) 分配金の計算過程は以下の通りです。

項 目	当 期
a. 配当等収益(費用控除後)	0円
b. 有価証券等損益額(費用控除後)	36,270,368円
c. 信託約款に規定する収益調整金	123,650,233円
d. 信託約款に規定する分配準備積立金	0円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	159,920,601円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	1,402円
g. 分配金	11,404,823円
h. 分配金(1万口当たり)	100円

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	100円
----------------	------

(注) 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、分配金は全額普通分配金となります。

(注) 分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金(特別分配金)となります。

(注) 分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合は、分配金は全額元本払戻金(特別分配金)となります。

(注) 元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

○(参考情報)親投資信託の組入資産の明細

(2020年2月4日現在)

<東京海上マネーマザーファンド>

下記は、東京海上マネーマザーファンド全体(10,687千口)の内容です。

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
	千円	千円	%	%	%	%	%	
地方債証券	8,000 (8,000)	7,998 (7,998)	74.0 (74.0)	— (—)	— (—)	— (—)	74.0 (74.0)	
合 計	8,000 (8,000)	7,998 (7,998)	74.0 (74.0)	— (—)	— (—)	— (—)	74.0 (74.0)	

(注) ()内は非上場債で内書きです。

(注) 組入比率は、このファンドが組み入れている親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
地方債証券	%	千円	千円	
平成26年度第3回堺市公募公債	0.32	2,000	1,999	2020/3/26
平成26年度第4回横浜市公債「ハマ債5」	0.14	6,000	5,998	2020/3/24
合 計		8,000	7,998	

(注) 株式、新株予約権証券および株式の性質を有するオプション証券等の組み入れはありません。

<参考情報>

カンドリアム・エクイティーズ・L・オンコロジー・インパクト
 (円建て、為替ヘッジなし/円建て、為替ヘッジあり)
 (外国投資証券 ルクセンブルグ籍) の運用状況

カンドリアム・エクイティーズ・L・オンコロジー・インパクト(以下、当ファンド)は、「東京海上・がんとたたかう投信」が投資対象とする外国投資信託証券です。
 「東京海上・がんとたたかう投信」の設定日以降における当ファンドの情報が開示されていないため、ご参考として、当ファンドにおける2020年1月31日現在の「組入有価証券の明細」を掲載いたします。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

形 態	ルクセンブルグ籍外国投資法人/円建て
運 用 方 針	主に、ヘルスケア分野を中心として、世界のがん治療・診断・研究等に関連する企業の株式(これに準じるものを含みます。)に投資します。 (円建て、為替ヘッジなし):原則として、為替ヘッジは行いません。 (円建て、為替ヘッジあり):原則として、為替ヘッジを行うことにより為替変動リスクの低減を図ります。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・原則として、純資産総額の10%を超える借入れは行わないものとします。 ・原則として、有価証券の空売りは行いません。 ・同一発行体への投資割合は、原則として純資産総額の10%以下とします。
収 益 分 配	原則として、年1回分配を行います。
信 託 期 間	無期限
決 算 日	原則として毎年12月31日
信 託 報 酬 等	ファンドの純資産総額に対し年率0.7% この他、ファンドは、ファンドの設立に係る費用、組入有価証券の売買委託手数料等の取引に要する費用、組入有価証券の保管に要する費用、信託財産に関する租税、監査報酬、法的費用等を負担します。 これらの費用・手数料等は、ファンドの残高等により変動するため、事前に料率、上限額等を表示することができません。
主な関係法人	管理会社: Candriam Luxembourg 投資運用会社: Candriam Belgium S.A. 保管受託銀行、管理事務代行会社: RBC Investor Services Bank S.A.

※資金動向および市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

組入有価証券の明細

2020年1月31日現在

国・地域	銘柄	評価額 (米ドル)	組入比率 (%)
アメリカ	BRISTOL-MYERS SQUIBB CO	37,875,127	6.7
	MERCK & CO. INC.	27,421,114	4.8
	THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	24,989,117	4.4
	HOLOGIC INC	18,201,724	3.2
	BIO-TECHNE CORP	16,746,787	2.9
	REGENERON PHARMACEUTICALS	16,449,905	2.9
	VARIAN MEDICAL SYSTEMS INC	16,204,488	2.8
	AMGEN INC	15,238,007	2.7
	NEOGENOMICS INC	13,226,032	2.3
	ACCELERON PHARMA INC	12,482,250	2.2
	BIO-RAD LABORATORIES-A	11,411,208	2.0
	SEATTLE GENETICS INC	10,952,701	1.9
	EXACT SCIENCES CORP	7,699,238	1.4
	BLUEPRINT MEDICINES CORP	6,593,978	1.2
	COHERUS BIOSCIENCES INC	5,946,255	1.0
	RADNET INC	5,567,748	1.0
	ARVINAS INC	4,041,128	0.7
	EPIZYME INC	3,711,119	0.7
	VERACYTE INC	3,665,419	0.6
	ILLUMINA INC	3,606,150	0.6
	IOVANCE BIOTHERAPEUTICS INC	3,343,699	0.6
	TG THERAPEUTICS INC	3,312,976	0.6
	KARYOPHARM THERAPEUTICS INC	3,207,196	0.6
	TURNING POINT THERAPEUTICS I	3,109,802	0.5
	HALOZYME THERAPEUTICS INC	3,035,339	0.5
	NOVOCURE LTD	3,019,967	0.5
	BLUEBIRD BIO INC	2,970,923	0.5
	INCYTE CORP	2,945,452	0.5
	CLOVIS ONCOLOGY INC	2,872,535	0.5
	DECIPHERA PHARMACEUTICALS IN	2,718,518	0.5
	EXELIXIS INC	2,636,399	0.5
	PERSONALIS INC	2,459,708	0.4
	MIRATI THERAPEUTICS INC	2,292,833	0.4
IMMUNOMEDICS INC	2,278,836	0.4	
XENCOR INC	2,153,832	0.4	
GUARDANT HEALTH INC	2,122,352	0.4	
FORTY SEVEN INC	2,064,646	0.4	
PIERIS PHARMACEUTICALS INC	1,733,853	0.3	
VIEWRAY INC	1,678,532	0.3	
G1 THERAPEUTICS INC	1,643,625	0.3	
Y-MABS THERAPEUTICS INC	1,598,431	0.3	
MYOVANT SCIENCES LTD	1,562,633	0.3	

国・地域	銘柄	評価額 (米ドル)	組入比率 (%)
アメリカ	CONSTELLATION PHARMACEUTICAL	1,529,554	0.3
	CYTOMX THERAPEUTICS INC	1,460,516	0.3
	STEMLINE THERAPEUTICS INC	859,792	0.2
	MACROGENICS INC	822,186	0.1
	FIVE PRIME THERAPEUTICS INC	151,767	0.0
小計 (金額・比率)		321,615,395	56.5
イギリス	ASTRAZENECA PLC	21,624,531	3.8
小計 (金額・比率)		21,624,531	3.8
カナダ	ZYMEWORKS INC	2,880,633	0.5
小計 (金額・比率)		2,880,633	0.5
スイス	ROCHE HOLDING AG-GENUSSCHEIN	46,167,969	8.1
	LONZA GROUP AG-REG	18,081,535	3.2
小計 (金額・比率)		64,249,504	11.3
デンマーク	GENMAB A/S	21,094,299	3.7
小計 (金額・比率)		21,094,299	3.7
ドイツ	SIEMENS HEALTHINEERS AG	16,775,040	2.9
	MERCK KGAA	16,018,442	2.8
	MORPHOSYS AG	10,967,940	1.9
	QIAGEN N.V.	2,196,212	0.4
小計 (金額・比率)		45,957,634	8.1
ベルギー	ARGENX SE	6,115,404	1.1
小計 (金額・比率)		6,115,404	1.1
香港	BEIGENE LTD-ADR	5,827,770	1.0
小計 (金額・比率)		5,827,770	1.0
中国	INNOVENT BIOLOGICS INC	1,815,119	0.3
小計 (金額・比率)		1,815,119	0.3
日本	DAIICHI SANKYO CO LTD	19,600,551	3.4
	SHIMADZU CORP	7,170,661	1.3
小計 (金額・比率)		26,771,212	4.7
合計 (金額・比率)		517,951,501	91.0

(注) RBC Investor Services BANK S.A. が提供する情報を基に作成しています。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 国・地域名はCandriam Belgium S.A. のデータに基づき記載しています。

東京海上マネーマザーファンド

運用報告書 第12期 (決算日 2019年8月15日)

(計算期間 2018年8月16日～2019年8月15日)

ここに、法令・諸規則に基づき、当マザーファンド（親投資信託）の直前の計算期間にかかる運用状況をご報告申し上げます。

東京海上アセットマネジメント

原則、各表の数量、金額の単位未満は切り捨て、比率は四捨五入で表記していますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値と一致しない場合があります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。また、一印は組み入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		参 考 指 数		債 組 入 比	券 率	純 資 産 額
	期 騰 落	中 率	期 騰 落	中 率			
	円	%		%			百万円
8期(2015年8月17日)	10,112	0.0	100.89	0.07	72.5		96
9期(2016年8月15日)	10,113	0.0	100.91	0.02	87.8		79
10期(2017年8月15日)	10,117	0.0	100.86	△0.05	83.5		10
11期(2018年8月15日)	10,116	△0.0	100.81	△0.05	74.1		10
12期(2019年8月15日)	10,113	△0.0	100.75	△0.06	69.4		10

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		参 考 指 数		債 組 入 比	券 率
	騰 落	率	騰 落	率		
(期 首)	円	%		%		%
2018年8月15日	10,116	—	100.81	—	74.1	74.1
8月末	10,116	0.0	100.80	△0.00	74.1	74.1
9月末	10,113	△0.0	100.80	△0.01	74.1	74.1
10月末	10,114	△0.0	100.79	△0.01	74.2	74.2
11月末	10,115	△0.0	100.79	△0.02	74.1	74.1
12月末	10,116	0.0	100.78	△0.02	74.3	74.3
2019年1月末	10,116	0.0	100.78	△0.03	74.3	74.3
2月末	10,115	△0.0	100.77	△0.03	74.2	74.2
3月末	10,115	△0.0	100.77	△0.04	74.0	74.0
4月末	10,115	△0.0	100.76	△0.04	73.1	73.1
5月末	10,116	0.0	100.76	△0.05	72.5	72.5
6月末	10,116	0.0	100.75	△0.05	78.3	78.3
7月末	10,112	△0.0	100.75	△0.06	69.4	69.4
(期 末)						
2019年8月15日	10,113	△0.0	100.75	△0.06	69.4	69.4

(注) 騰落率は期首比です。

参考指数は無担保コール翌日物金利です。無担保コール翌日物金利は設定日を100として指数化したものです。

○運用経過

(2018年8月16日～2019年8月15日)

■期中の基準価額等の推移

期首：10,116円

期末：10,113円

騰落率：△ 0.0%

◇基準価額の主な変動要因

プラス要因

・安定した利息収入の獲得

マイナス要因

・債券の評価損など

■投資環境

当期の短期金融市場は、日銀が長短金利操作付き量的・質的金融緩和を継続するなど、金融緩和環境が維持されたことにより、非常に低い金利水準が継続しました。金融緩和の度合いを知る上で着目する日銀の当座預金残高は、370兆円台から410兆円台へと拡大しており、短期金融市場の資金余剰感は一段と強くなりました。

このような状況下、無担保コール翌日物金利は-0.08%程度から-0.02%程度で推移しました。また、3カ月物の短期国債利回りは、-0.35%程度から-0.10%程度で推移しました。

■ポートフォリオについて

元本の安全性と流動性を重視し、短期の政府保証債や地方債等に投資して安定的な収益の確保に努めました。その結果、基準価額はおおむね横ばいに推移しました。

○今後の運用方針

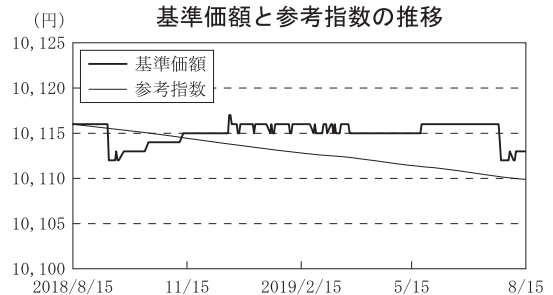
国内の短期金利は、日銀が当面は緩和的な政策を継続するとの見方から、マイナス水準にとどまると予想しています。

このような環境下、政府保証債や地方債を中心とする円建て公社債およびコマーシャル・ペーパーを主要投資対象として運用することにより、プラスの収益の確保もしくはマイナス幅を極力最小化するように努める方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2018年8月16日～2019年8月15日)

該当事項はございません。



(注) 参考指数は、期首(2018年8月15日)の値が基準価額と同一となるように指数化したものです。

(注) 参考指数は、無担保コール翌日物金利です。



○売買及び取引の状況

(2018年8月16日～2019年8月15日)

公社債

		買付額	売付額
国	地方債証券	千円 36,033	千円 — (36,500)
	特殊債券	6,017	— (6,000)

(注) 金額は受渡代金です。(経過利子分は含まれていません)

(注) ()内は償還による減少分です。

○利害関係人との取引状況等

(2018年8月16日～2019年8月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2019年8月15日現在)

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区分	当 期				末		
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
地方債証券	千円 7,500 (7,500)	千円 7,498 (7,498)	% 69.4 (69.4)	% — (—)	% — (—)	% — (—)	% 69.4 (69.4)
合 計	7,500 (7,500)	7,498 (7,498)	69.4 (69.4)	— (—)	— (—)	— (—)	69.4 (69.4)

(注) ()内は、非上場債で内書きです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 評価については、金融商品取引業者、価格情報会社などよりデータを入手しています。

(B) 国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当 期				末
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
地方債証券	%	千円	千円		
第30回兵庫県民債	0.2	5,000	4,998	2019/10/16	
平成26年度第2回横浜市公債「ハマ債5」	0.18	1,500	1,499	2019/9/24	
第41回川崎市公募公債(5年)	0.163	1,000	1,000	2019/9/20	
合 計		7,500	7,498		

(注) 株式、新株予約権証券および株式の性質を有するオプション証券等の組み入れはありません。

○投資信託財産の構成

(2019年8月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 7,498	% 69.4
コール・ローン等、その他	3,310	30.6
投資信託財産総額	10,808	100.0

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年8月15日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	10,808,779
コール・ローン等	3,305,139
公社債(評価額)	7,498,650
未収利息	703
前払費用	4,287
(B) 負債	2
未払利息	2
(C) 純資産総額(A-B)	10,808,777
元本	10,687,958
次期繰越損益金	120,819
(D) 受益権総口数	10,687,958口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,113円

(注) 当親ファンドの期首元本額は10,668,179円、期中追加設定元本額は267,979円、期中一部解約元本額は248,200円です。

<元本の内訳>

東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド(通貨選択型) マネーボール・ファンド	1,454,904円
東京海上・東南アジア株式ファンド	1,100,000円
東京海上・アジア中小型成長株ファンド	1,100,000円
大和マイクロファイナンス・ファンド	992,261円
東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド(通貨選択型) 円コース(毎月分配型)	991,474円
東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド(通貨選択型) 豪ドルコース(毎月分配型)	991,474円
東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド(通貨選択型) ブラジル・レアコース(毎月分配型)	991,474円
東京海上・米国優先リートファンド(為替プレミアム)	989,316円
東京海上Roggeグローバルインフラ・ハイールド債ファンド(為替ヘッジなし)(毎月決算型)	494,511円
東京海上Roggeグローバルインフラ・ハイールド債ファンド(為替ヘッジなし)(年2回決算型)	494,511円
東京海上Roggeグローバルインフラ・ハイールド債ファンド(為替ヘッジあり)(毎月決算型)	494,511円
東京海上Roggeグローバルインフラ・ハイールド債ファンド(為替ヘッジあり)(年2回決算型)	494,511円
東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド(通貨選択型) 米ドルコース(毎月分配型)	9,915円
東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド(通貨選択型) ユーロコース(毎月分配型)	9,915円
東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド(通貨選択型) 資源国通貨バスケットコース(毎月分配型)	9,915円
東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド(通貨選択型) メキシコ・ペソコース(毎月分配型)	9,898円
東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド(通貨選択型) トルコ・リラコース(毎月分配型)	9,898円
東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド(通貨選択型) ロシア・ルーブルコース(毎月分配型)	9,898円
東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド 円コース(年1回決算型)	9,896円
東京海上Rogge世界ハイブリッド証券ファンド 米ドルコース(年1回決算型)	9,896円
東京海上・がんとたたかう投信(為替ヘッジなし)(年1回決算型)	9,890円
東京海上・がんとたたかう投信(為替ヘッジあり)(年1回決算型)	9,890円

(注) 上記表中の次期繰越損益金が△表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

(注) 上記表中の1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第11号に規定する計算口数当たりの純資産の額となります。

○損益の状況 (2018年8月16日～2019年8月15日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	50,762
受取利息	52,889
支払利息	△ 2,127
(B) 有価証券売買損益	△ 54,120
売買損	△ 54,120
(C) 当期損益金(A+B)	△ 3,358
(D) 前期繰越損益金	123,993
(E) 追加信託差損益金	3,061
(F) 解約差損益金	△ 2,877
(G) 計(C+D+E+F)	120,819
次期繰越損益金(G)	120,819

(注) (B) 有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (E) 追加信託差損益金は、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分です。

(注) (F) 解約差損益金は、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分です。